

【防災メモ】

～冬の大地震に備えて～

発生が切迫している日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・大津波をはじめ、冬に大きな地震が発生した場合には、強い揺れや津波の被害に加え、雪や寒さが原因となる二次災害が起こることもあります。人的被害をできるだけ軽減するためにも、冬の大地震への備えについて、以下の点に注意しましょう。

1. 雪や凍結路に対する備え

屋根に雪が多く積もっていると、地震の揺れによる家屋の倒壊や、屋根からの落雪の可能性がより大きくなります。屋根からの落雪は人を巻き込む危険性があるほか、避難路をふさぐ原因にもなりますので、十分に注意しましょう。

地震・津波から避難する場合、冬は路面の積雪や吹雪などにより時間がかかります。避難所や避難場所までの経路を事前に確認しておきましょう。また路面が凍結していると滑りやすいため、避難の移動中に転倒して負傷する恐れがあります。そのため路面状況をよく確認し、慌てず避難しましょう。



2. 火災に対する備え

暖房器具を使用する冬場に地震が発生すると、火災のリスクが高まります。転倒時に自動停止する機能があっても、停電からの復電とともに再起動したり、配線の損傷から漏電したりして出火する通電火災に注意が必要です。暖房器具のそばには可燃物を置かないようにし、避難の際はブレーカーを切るようにしましょう。



3. 寒さへの備え

地震によって電気やガスが止まり、暖房器具が使えなくなることが考えられますので、このような時でも使用できるようなポータブルの暖房器具を用意しておきましょう。また、屋外で低体温症になるのを防ぐため、防寒着や防寒靴、毛布、カイロなどを避難時にすぐ持ち出せるようにしておくことで安心です。



4. 雪についての情報

気象庁ホームページでは「今後の雪」の情報を提供しています。このコンテンツでは、積雪の深さと降雪量の分布について、24時間前から現在までの状況及び6時間先までの予測を一体的に確認できます。

これまでの積雪と今後の雪に関する情報として、避難路の確保等にご活用ください。

「今後の雪」 <https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

